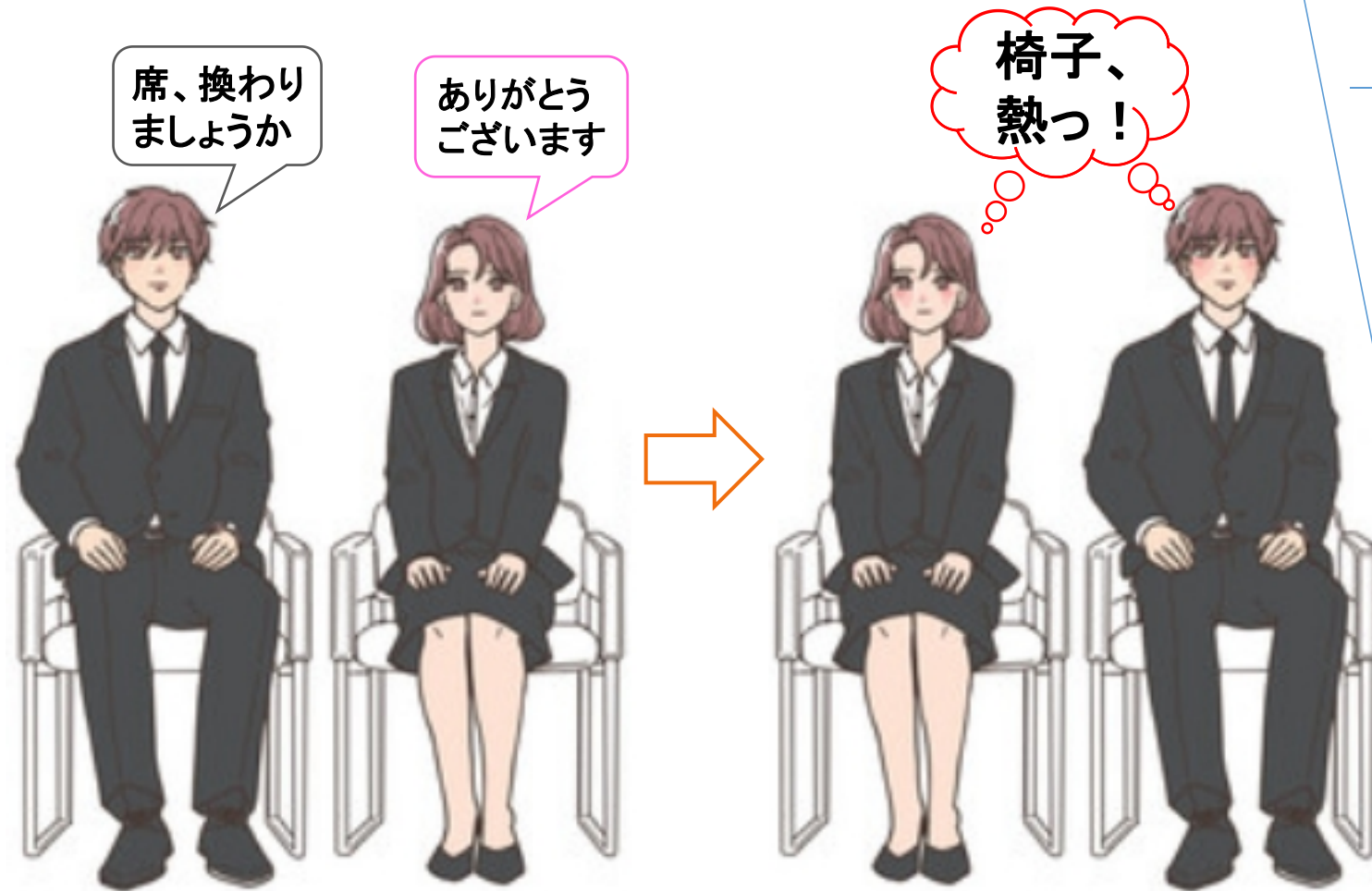


他人が座っていた椅子が熱いのはなぜ？



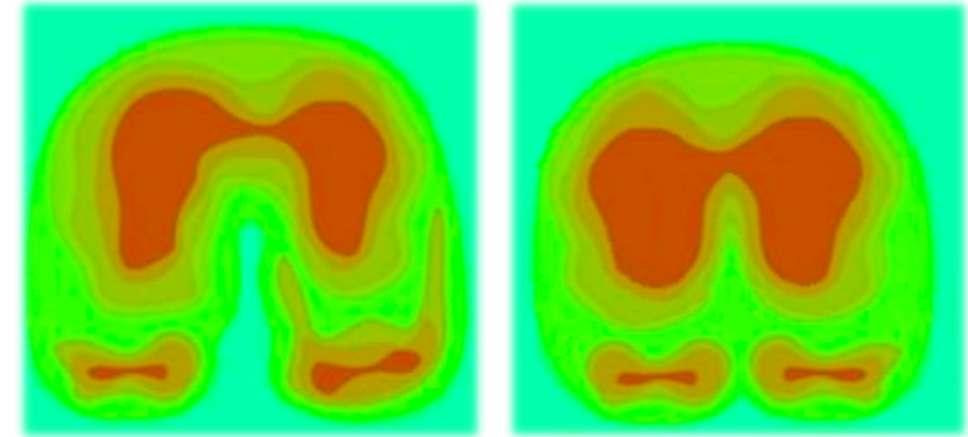
自分と、もう一人が椅子に座っていて、互いに席を換わった瞬間、椅子がとんでもなく熱い。あなたも、そのように感じたことはないだろうか…

不思議なことに、二人とも、そう感じている。従って、どちらかの体温が特に高いということではなさそうだ。

この、世にも不思議な現象は、一体なぜ起きるのだろうか…。

たとえば、自分が椅子に座っていて、近くのものを取るために数秒間お尻を上げ、再び同じ椅子に座る場面は多くあるが、その時に椅子が熱いと感じたことは無い。しかし、他人が座った後の椅子は熱い。

座面の温まり方のパターンは人によって異なる



椅子が温くなった部分に面していた皮膚も、通常よりは温度が上がっており、それ以外の部分は平常温である。

椅子を交換すると、温まり方のパターンの異なった椅子に座ることになり、平常温のままであった皮膚の部分に、温まった椅子の部分が当たることになる。

いつもと異なる温度感覚は、あなたの脳・神経系の担当部分を興奮させ、その異常さをもっと厳密に見極めようと、感度を上げる。その結果、単に温かいだけなのに「熱い」と感じてしまう。あまり熱く感じない場合は、その人と尻合いです。